

議事録

会議の名称	令和2年度第3回西東京市総合教育会議
開催日時	令和3年1月19日（火） 午前10時00分から午前11時20分まで
開催場所	西東京市役所 田無庁舎4階 第1・2委員会室
出席者	丸山市長、木村教育長、米森教育長職務代理者、後藤教育委員会委員、山田教育委員会委員、服部教育委員会委員、今井教育委員会委員 (事務局) 保谷企画部長、栗田企画部参与兼企画政策課長、小倉企画政策課企画政策担当主任、五十嵐健康福祉部副参与兼健康課長、八矢子ども家庭支援センター長、飯島教育部長、森谷教育部特命担当部長、掛谷教育企画課長、工藤教育企画課課長補佐、名古屋教育部主幹、大谷学務課長、山縣教育指導課長、荒木統括指導主事、宮崎教育支援課長、和田社会教育課長 (傍聴人) 1人
議題	1 令和2年度の取組について 2 令和3年度の重点施策について 3 その他
会議資料の名称	資料1 令和2年度 西東京市あったか先生プロジェクト（教育指導課） 資料2 児童虐待の現状について（子ども家庭支援センター） 資料3 平成31（令和元）年と令和2年の相談回数比較（1月から9月まで）（教育支援課） 資料4 こどもの発達センターひいらぎ通所事業利用者就学予定先（健康課） 資料5 学校施設適正規模・適正配置について（教育企画課） 資料6 令和3年度の教育に関する重点施策について（企画政策課） 当日配布資料 西東京市新型コロナウイルス感染症に対する対応・取組（その5）抜粋版（企画政策課）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
○発言者名： 発言内容 <開会>	
○市長： ただいまから、令和2年度第3回西東京市総合教育会議を開会します。 本日の議題は、「令和2年度の取組について」、「令和3年度の重点施策について」、「その他」の3議題です。	
○市長： 本日の会議は、西東京市総合教育会議会議規則に基づき公開します。傍聴は、西東京市総合教育会議傍聴要領に基づき10席までの傍聴を認めます。会議の議事録は、発言者の発言内容ごとの要点記録とします。御異議ございませんか。 (異議なし)	

○市長：

傍聴の申出があったため、傍聴希望者の入場を許可します。

○市長：

本日の総合教育会議は、今年度第3回目の会議となります。昨年6月に開催した第1回の会議では、今年度の教育に関する4つの重点施策を定め、10月には重点施策に基づく取組状況の報告等を行いました。

本日も、重点施策に基づく今年度の取組状況の報告を行い、令和3年度における重点施策の検討を進めていきます。委員とのかったつな意見交換を図りたいと思いますので、よろしくをお願いします。

また、本日の会議は、国の緊急事態宣言下での開催となります。そのため、接触を避けるため、事務局出席は案件関係者としています。会議進行も簡潔な説明により進めていきます。

議題に入る前に、この間の新型コロナウイルス感染症に関連した取組について、事務局から報告をお願いします。

(事務局説明)

<当日配布資料>西東京市新型コロナウイルス感染症に対する対応・取組(その5)抜粋版(企画政策課)

議題1 令和2年度の取組について

○市長：

議題1「令和2年度の取組について」を取上げます。

各担当課より重点施策に基づく今年度の取組について、説明をお願いします。

(事務局説明)

(1) いじめ・虐待の対策

<資料1>令和2年度 西東京市あったか先生プロジェクト(教育指導課)

<資料2>児童虐待の現状について(子ども家庭支援センター)

<資料3>平成31(令和元)年と令和2年の相談回数比較(1月から9月まで)(教育支援課)

(2) 切れ目のない支援の充実

<資料4>こどもの発達センターひいらぎ通所事業利用者就学予定先(健康課)

(3) 時代の変化に対応した学習環境等の整備

<資料5>学校施設適正規模・適正配置について(教育企画課)

○市長：

事務局より説明がありました。

ここまでの説明内容に加え、冒頭の新型コロナウイルス感染症に関連した取組の報告のなかで話がありましたが、柳沢中学校で実施した取組の紹介をお願いします。

(事務局説明)

コロナ禍で実施した柳沢中学校の地域交流事業について(教育企画課) ※動画により説明

○市長：

重点施策に基づく取組内容に補足し、学校活動の状況について報告がありました。御意見、御質問等がありますか。

○米森教育長職務代理者：

あったか先生プロジェクトについて、これまでの体罰事案に対する教員等への対応方法でも十分に取り組んでいます。根絶には至らない状況です。そのなかで、あったか先生プロジェクトの取組は是非進めてもらいたいと考えていますが、取り組むに当たり他自治体の事例が参考になるものはありますか。

また、西東京市では教員の公募を行っていましたが、あったか先生プロジェクトはPRになると思います。

そして、服務事故防止の取組があったか先生プロジェクトの取組と重なってしまうのではないかと、上手く仕分けを行うことができるのかという点が気になっています。

○山縣教育指導課長：

取組事例については、服務事故の防止は東京都全体における課題のため、東京都教育委員会から情報提供される「ふくむニュースレター」等を活用しているところです。西東京市の取組の特徴は、教員が本来すべき子どもへの向き合い方を強調し、前向きな取組としてアピールしているところにあります。

教員公募について、西東京市は主任教員以上で公募していますが、その際にあったか先生プロジェクトの取組を強調しました。その後の公募面接時に、あったか先生プロジェクトの内容を志望理由にする応募者が多くいました。

服務事故防止の徹底は至上命題ですので、継続していく必要があります。そのうえで、あったか先生プロジェクトの取組は教員自身がどのように子どもたちと向き合うべきかという自問と指導改善となるように服務事故防止と両輪で進めてまいります。

○後藤教育委員会委員：

あったか先生プロジェクトについて、すでに取組の考え方のとおりに子どもに向き合っている教員が評価されることは、非常にいいことであると思います。資料中のあったか先生推進担当の教員の役割について、教員同士が相互に学び合う場や取組を広めるリーダー的な役割を担う教員を想定されていますか。

○荒木統括指導主事：

役割については、プロジェクトチームの中で整理しています。学校の中でリーダー的役割を担う教員が必要ではないかと考え、検討を進めています。

○山田教育委員会委員：

あったか先生プロジェクトに関連し、服務事故を起こした教員の傾向があればご教示ください。

○山縣教育指導課長：

服務事故を起こした教員の傾向について、一括りにはできませんが、一人で問題を抱え込むケースが多く見受けられます。また、アンガーマネジメントに問題があるケースや上司や同僚に対してもコミュニケーションに問題を抱えているケースが挙げられます。

○服部教育委員会委員：

教員のメンタルサポートの役割を担うのは副校長でしょうか。

○山縣教育指導課長：

教員については、東京都のカウンセラーへの相談が可能なほか、福利厚生制度でメンタルサポートを受けることができます。

○今井教育委員会委員：

あったか先生プロジェクトの取組について、非常にいい取組であり、すでに保護者へも周知が進んでいます。今後も引き続き取組を進めてもらいたいと考えています。

○市長：

様々な御意見をいただきありがとうございました。

教育に関する重点施策は、本市が取り組むべき重要な課題であると認識しています。

今後も引き続き、教育委員会と連携して課題解決に向けた取組を進めていきます。

議題2 令和3年度の重点施策について

○市長：

それでは、議題2「令和3年度の重点施策について」を取り上げます。

(事務局説明)

<資料6>令和3年度の教育に関する重点施策について（企画政策課）

○市長：

事務局より令和3年度の教育に関する重点施策についての説明がありました。意見等を求めます。

○米森教育長職務代理者：

重点施策の新規追加ではなく、コロナ禍での取組の経過確認が必要と考えます。そのため、新規項目の余地を残すために注釈や前書き、サブタイトルを追加してはいかがでしょうか。また、GIGAスクール構想は、コロナ禍でなくても必要な内容だと思いますので、目に見える形に示してもいいのではないかと思います。子どもの居場所の充実は、今後の取組方法を考えていく必要があると思うので、重点施策として継続しつつ取組方法を検討していく必要があると考えます。

○山田教育委員会委員：

新しい重点施策を据えるためには、これまでの取組内容の評価を行わないと変える理由が生じないと考えます。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で当初目標を達成できないと思いますので、継続が妥当だと考えます。しかし、一方でGIGAスクール構想について、自治体間での取組差が開いていくという観測もありますので、しっかり取り組むべきものであると考えています。また、子ども条例のなかでも取り上げていますが、SDGsの取組は必要であると考えている。重点施策における取組事業という扱いにしてはどうかと考えます。

○後藤教育委員会委員：

現行の取組を評価して進める必要があると考えているが、GIGAスクール構想については、教育上の明確な目標を設定する必要があると考えています。また、子ども条例や小中一貫教育は、教育内容がどのように反映されたのかという確認が必要だと考えます。コロナ禍において、子どもたちの健康保持・増進を明確に示すことも必要だと思えます。

○服部教育委員会委員：

現行の重点施策の維持がいいと考えます。そのほかでは、GIGAスクールの取組方について、タブレット端末による教育が、子どもにどれほど影響を与えるか、例えばスクリーンタイムを測定する必要があると思います。タブレット端末の使用により読書量が減っている現状では、子どもが読書する取組の必要性を感じています。

○今井教育委員会委員：

コロナ禍で実施した分散登校時に学級人数が半数になった状況において、子どもにしっかりと向き合うことができたという教員の意見がありました。少人数学級の実施がいじめや虐待の対策につながっていくのではないかと期待しています。また、地域との連携・協力を進めることは、教員の負担軽減や教育の多様性を生み出すことになるのではないかと考えます。さらに、GIGAスクール構想について、指導方法を楽しみにしている保護者の声を聞いていますので、時代に合った教育方法を検討していく必要があると思います。

○教育長：

学校の学習環境とそれに伴うソフト整備が必要であり、地域における学校のあり方を考える視点の導入を検討しなければならないと考えています。コロナ禍における新しい生活様式の下で、学校と地域の役割を再考していくべきだとも考えています。

○市長：

様々なご意見をいただきありがとうございました。

来年度の重点施策については、いただいた御意見を基に検討を行います。

議題3 その他

○市長：

議題3「その他」です。事務局より連絡事項を求めます。

(事務局説明：会議資料と会議録の公表、次回開催予定について)

○市長：

以上で、本日の議題はすべて終了となります。

令和2年度第3回西東京市総合教育会議を閉会します。

<閉会>